

# 陳情文書表（平成26年9月8日定例会提出）

## 陳情第15号

### 進保育園の救済を求める陳情書

平成26年8月26日受理

陳情者 奈良市学園大和町五丁目2-101  
進保育園  
代表 長崎博明

## 要旨

当園の経営困難な現状について

## 本文

当園の現状を把握していただき、救済策を御提示くださればと思い陳情いたしました。

開園して9年、ずっと順調であったわけではありませんが、何とか日々の努力で運営を続けてまいりました。

しかし、2009年4月に、認可：とみお駅前保育園ができ、さらにことし2月に認可：富雄東保育園ができたことにより、当園は窮地に陥っております。

2009年4月の段階では、当園の園児数も減少してしまい運営が困難になりましたが、園の位置的なものと、職員の努力や保護者の御協力で何とか立て直すことができました。（目と鼻の先にあった他の認可外保育園2園は廃業へと追い込まれました。）

しかし、ことし2月、至近距離に富雄東保育園ができたことにより、4月に園児数が激減しました。通常の年度がわりでは、4月末から5月中旬には園児数は回復するのですが、今回は園児数が全く戻らず、運営が困難な状態に陥りました。

とみお駅前保育園ができたときも、富雄東保育園ができるときも、保護者からの連絡で初めて知った状態です。富雄東保育園までは、当園から徒歩5分圏内です。

行政からは何の連絡もありませんでした。この保育園の出現で近隣の幼稚園も定員割れしているのを聞いております。打開策なのか当園近くの幼稚園は、今まで企画しなかった、午後の延長保育や、夏休みの預かり保育を始め、そのため当園が今まで請け負ってきた幼稚園後の預かりや季節期間の保育が全くできなくなりました。それに、認可園も一時預かりをしており、当園としましては想定外の出来事が次々と起こっている状態です。

ことしの3月までは、ほぼ定員いっぱいの状態だったのですが、2月の富雄東保育園の突然の出現により、目の回るような忙しさから一変、4月から登園人数が日に三、四名という状態が続いております。

2月以降は、入園の問い合わせはおろか、一時預かりの依頼も全くと言っていいほどなくなり、このようなことは開園以来初めてです。

ぐずったり、泣き叫んだお子様を何とか手塩にかけ、教育し、ようやくなれて順調に登園していたも

のを、さっと横取りされた感は否めません。御両親からは、「申しわけない」や「大変お世話になったのに済みません」というお言葉をいただいた上での退園です。

何の落ち度もない当園は、そのために経営が破綻してきています。寝耳に水の認可保育園の出現のせいです。

何とか現状打開と運営立て直しをするべく、市の保育課へ4回程度足を運んでいます。私一人では力が及びませんでしたので、知り合いの市議会議員にお願いをして園の現状を見てお話しさせてもらった上で、同席していただき、保育課長、課長補佐との4人での対談もいたしました。進展がありません。

困窮している当園への補助を何度も頭を下げてお願いしていますが、事例がないとか、そんな決まりがないので、「お気持ちはわかりますが、何もできません」の一点張りです。

保育課からは、毎年のように大勢で園を視察し、タオルの位置がどうのこうのと言うのに、保育園が現存するのに、余りにも近い距離に新設の園を許可する。この行為はどういうことでしょうか。（認可園と認可外園（特に個人園）では圧倒的な力の差があります。）

こんな現状があることを御存じでしたか。なぜこんな近くに認可園をつくったのですか。2009年4月に近くの認可外園2園が潰れているにもかかわらず、なぜそのことを言うてくれる職員が保育課にいなかったのですか。認可園をつくってしまったことによって、認可外園を潰してしまっているという、申しわけない気持ちは全く見受けられません。

現在の認可外園が、ある意味、市（認可園）の補助（サポート）をしていると思います。

（今までに何人もの方が、市の紹介で当園に来られ、御利用されてきています。また、仕事を始められる方のお子様が待機児童とのことで、全て当園に来られた方は引き受けてきました。）

それを何の配慮もなく、ただ、待機児童の解消というだけで認可園をつくるという行為が、認可外園の運営を脅かしていることを御存じでしたでしょうか。

当園は、認可園へ入れない待機児童の受け入れ、幼稚園児の午後の預かりもやってきました。大規模園からすると、微々たるものかもしれませんが、保護者の御協力、及び職員一同の精いっぱいかたくなな努力の結果です。この努力の結果がなくなろうとしています。とても悔しく思います。

どうか、当園をお救いいただけないでしょうか。（急を要しています。）

当園の継続運営が可能なサポートをお願いできないでしょうか。

万が一、当園の経営が破綻することがあれば、在園児の行き場所及び所属する職員の行き場所がありません。

認可園には、まだまだ待機児童がいると聞いています。優先的に園児の御紹介をしていただくよう、市の保育課に取り計らっていただきますようお願いいたします。

次年度からいろいろと改善され、小規模保育や、家庭的保育の仕組みが稼働するように聞いています。当園としても許可をおろしていただけるように改善可能な部分は努力するつもりですが、市としても最大限の努力をしてくださるようお願いいたします。

あわせて、御考慮くださいますようお願いいたします。